

文學士佐々醒雪君序

好評 六版 俳句講話

文學士沼波瓊音君著

俳句は如何にして作るべきか、俳句は如何にして味ふべきか、抑も俳味なるものは果して那邊に存するや。本書は此等一切の問題に興味饒き解案を興へ、以て乾燥せる現時の人心に一味の清風を熱せんとす。何人と雖も案頭一本を缺くべからず。

▲小杉未醒君 裝幀 美裝全一冊：定價四十錢 郵税六錢

文學士久保天隨君序

好評 再版 俳句研究

文學士沼波瓊音君著

本書は俳句の研究たると同時に、自然の研究也、美の研究也、又人生の趣味教育也。著者が筆鋒の觸るゝ所、物皆油然として俳趣を生ず。俳人たるを然らざるとを問はず、一本を繕いて、津々たる十七字詩の美漿に酔へ。

▲俳句講話同裝：美本全一冊：定價四十錢：郵税四錢

高濱虚子君新著

近刊 俳諧趣味

近時著述界の弊は、餅屋にして酒を售り、酒屋にして菓子を賣き、唯汲々として其質上高の多からむ事のみ競ふの風が見える、であるから、實に富んだ趣味の豊かな、眞摯にして尚永な、好著の鮮いのも、無理はない處が本書は現今ホトギス派俳壇の雄鎮として、多年斯道の造詣深き虚子君が、其最専門とせらるゝ、俳諧趣味を説かれたのであるから、天下此位適當した事業は、實に他にあらまいと思ふ。サンカリンの交つた餅屋の菓子に胃腸を痛め、如何はしい瓶詰正宗に頭を擡めて御座る方々は、早く此餅屋の今坂、眞正銘の正宗を味つて俳趣味の醇雅な滋味に舌鼓を打ち給へ

▲袖珍全一冊：裝幀風雅：定價 郵税

幸田露伴君著

好評 三版 小はるさめ集

●本書の内容

一口劍三篇。風流佛十二段。みれん五章。

本書收むる所の三卷、悉く之れ明治文學史上特筆筆記すべき希世の名作たるは世に定評あり。而かも刊本風に絶えて其得易からざるを憾みとし、乃ち先生に請うて合刻す。今や參版成る、文壇の欣陥今日より完たからむ。

▲大判全一冊：希有の美裝：定價七十五錢：郵税八錢

幸田露伴君著

好評 三版 潮待ち草

阪井紅兒君畫

潮待ち草は露伴先生の隨筆也、自然觀也、人生觀也、はた社會百般の事物に對する觀察録也。詩を談じ、文を品し、史を論じ、處世を説きて、眞に他の企及すべからざる妙趣あり。以て品性修養の資とすべく、以後進文を學ぶの範とすべし。附録「土偶木偶」の一篇も亦先生が近作小説中の白眉たるもの、敢て文藝を愛好するの士の清鑒を俟つ。

▲大判全一冊：裝釘最優雅：定價八十五錢：郵税八錢

幸田露伴君新著

近刊 賴朝

阪井紅兒君裝幀

英雄由來風流事に富む。而かも我「賴朝」の情話の如く波瀾、曲折の妙を極めたるは、蓋し罕なり。露伴先生夙に頭大公が情の半面に心を潜めらるゝと久しく、博考證遂に斯の一篇を成す。然ゆるが如き青春の戀に惱むる英雄の俤は、當代の文豪が靈犀の詩筆に依つて讀者の眼前に躍如たらむ。當に之れ近時文壇の一大偉觀!

▲大判全一冊：空前の綺裝：定價 郵税



幸田露伴君著

好評 再版 註 一日物語

沼田穎川君註

野口米次郎君著

好評 三版 邦日本少女の米國日記

阪井紅兒君畫

秋元蘆風君譯

獨逸 詩粹 シルレル詩集

二日物語は露伴先生が、傑作中の翹楚たり。今其全文を引きて精到なる註釋を加ふ。『此一日』の何ぞ凄婉にして。

「彼一日」の何ぞ悲惨なるや、渾身是れ詩の權化たる西行法師の心胸を活寫せし此一大名篇は、本書に依りて更に讀者と近親の便を加へたるものと稱すべし。

▲全二冊總クロース：金文字入美裝：定價四十錢：郵稅四錢▼

ヨネ、ノクヤ君の『日本少女の米國日記』は、實に吾人同胞の、以て世界文壇に誇示すべき、一大珍書にあらざるや。而も原文は公衆の、笑文編纂の妙を極たるを以て、歐文に精通せるの士を以てして、猶且つ解説に苦しむもの尠なからざるは、眞に隔靴搔痒の嘆なくんばあらず。君また夙に之を感みとし、茲に自から邦文を以て本書を譯出せらる。其妙嫺熟たるわが朝顔は、今や嫣然たる嬌笑を湛へて、讀者の面上に秋波を送りつつあるに非ずや。果して彼女と交歡の情を交ゆるの果報男や抑も誰ぞ？

▲大判全一冊：洋風美術的製本：定價七十五錢：郵稅八錢▼

詩聖シルレルの傑作中、「ヘロー、レアンデル」以下著名なるもの八篇を採り、獨逸文學に精通せる秋元蘆風君が、慘憺たる經營を費して、邦詩型に譯されたるもの、蘆風君の詩や、麗藻彬々として、氣韻頗る高く、眞に鶯歌ひ、鳳舞ふの概あり、原詩の妙想と相俟つて、一讀恍惚たるの思ひあり。

▲袖珍新形全一冊：挿畫七葉：定價四十錢：郵稅四錢▼

外國語學 校教授 山口小太郎君序

新刊 シルレル 鐘の歌評釋

秋元蘆風君著

在米國 茅原華山君著

高評 再版 世 文明推移史論

大日本催眠學會會長 小野福平君著

催眠術治療精義

(大日本催眠學會藏版)

本書は獨の詩聖シルレルが、治工の大鐘を鑄るに擬して、幽玄微妙なる人生の奧秘を謳へる一大詩篇にして、詩聖が代表的の名作たるは已に定評あり。著者秋元蘆風君はシルレルの研究に於て造詣深き士、今茲其積年の蘊蓄を傾注して、本書を公にす。由來難解を以て稱せらるる「鐘の歌」も、君が透徹明快なる評釋によつて一讀及を迎へて釋するの概あらん。苟も獨語の研鑽に係れる諸君は勿論、獨逸詩壇の明星たる千古の詩聖シルレルを解せんと欲するの士は、亦必ず本書を一讀せざるべからず。

▲洋裝全一冊：金文字入美裝：定價七十錢：郵稅八錢▼

本書は筆を東北と九州に起し、日本海岸と太平洋諸國の論評より、亞細亞文明の東漸を論じては儒教と佛教の批評となり、歐洲文明の西漸を論じては希臘羅馬の文明及基督教の批判となり、歐洲の衰運、米國の勃興、日本文明の西漸を説きて朝鮮支那露國等の國俗民情に及び、博く地理學、史學、人種學等に亘り、歐亞兩文明が各東西に推移せし史上の事迹を詳論して、日本の眞價及日本の世界に於ける關聯的位置を發見し、以て我大和民族の天職の存する所を指點す、眞に吾人同胞を啓發すべき一大史論也。

▲菊大判全一冊：貳百五十餘頁：定價五十錢：郵稅八錢▼

本書は、大日本催眠學會會長として、本邦催眠術研究家の先覺者たる小野福平先生が富瞻なる學識と、多年の實験とを基礎とし、博く東西の學說を參酌して、筆を催眠術の原理を起し、心理學、生理學、醫學等の根底より催眠術を以て治療し得べき諸種の疾病の病理、症候、經過、療法等を説明せられたる催眠學界空前の大著にして催眠術研究者は、勿論、醫家經世家等の苟も看過すべからざる良書也。

▲菊大判全一冊：金文字入洋布美裝：定價廿錢：郵稅六錢▼



# 東亞堂へ書籍を註の便益

東亞堂へ書籍を註の便益  
は郵便振替貯金に加入仕居候間、御注文の節は替料、郵便料、書留  
ごる御便利有之候、葉書或は電報にて、御注文の書名、著者の姓名、冊数等御  
申越被下候へば、直に現品の有無、及其代價郵税、並に御送金の手續き等に關  
する委細の説明書御送附申上候

## 東亞堂

は自店出版の書籍の外、各出版元と特約の上、博く内外の  
販賣致し候間、何種書籍、如何なる書店發刊の圖書を不問、陸續御注文奉願  
上候

## 東亞堂

は品切れ、又は自店に持合せなき品と雖も、御注文の節は諸方捜索、能ふ限り  
御便宜を圖り可申候間、何品に不拘御注文奉願上候

## 東亞堂

は書籍に關する讀者各位の御問合せに對しては、極めて懇切に、又迅速に御  
回答申上候間、必ず返信用郵券を添へ御照會被下度候

## 東亞堂

は御注文品は多少に不拘、其都度迅速に發送仕候間、代價郵共、必ず前金を  
添へ（郵便爲替なれば本郷一丁目郵便取扱所渡りに、郵券代用なれば一割増に  
て）御送附被下度候

## 東亞堂

は更に出版部奮て良書を發行致し、益々讀書界に貢献仕度き微意  
を擴張の上、奮て良書を發行致し、益々讀書界に貢献仕度き微意  
偏に奉懇願候

# 東亞堂へ書籍を註の便益

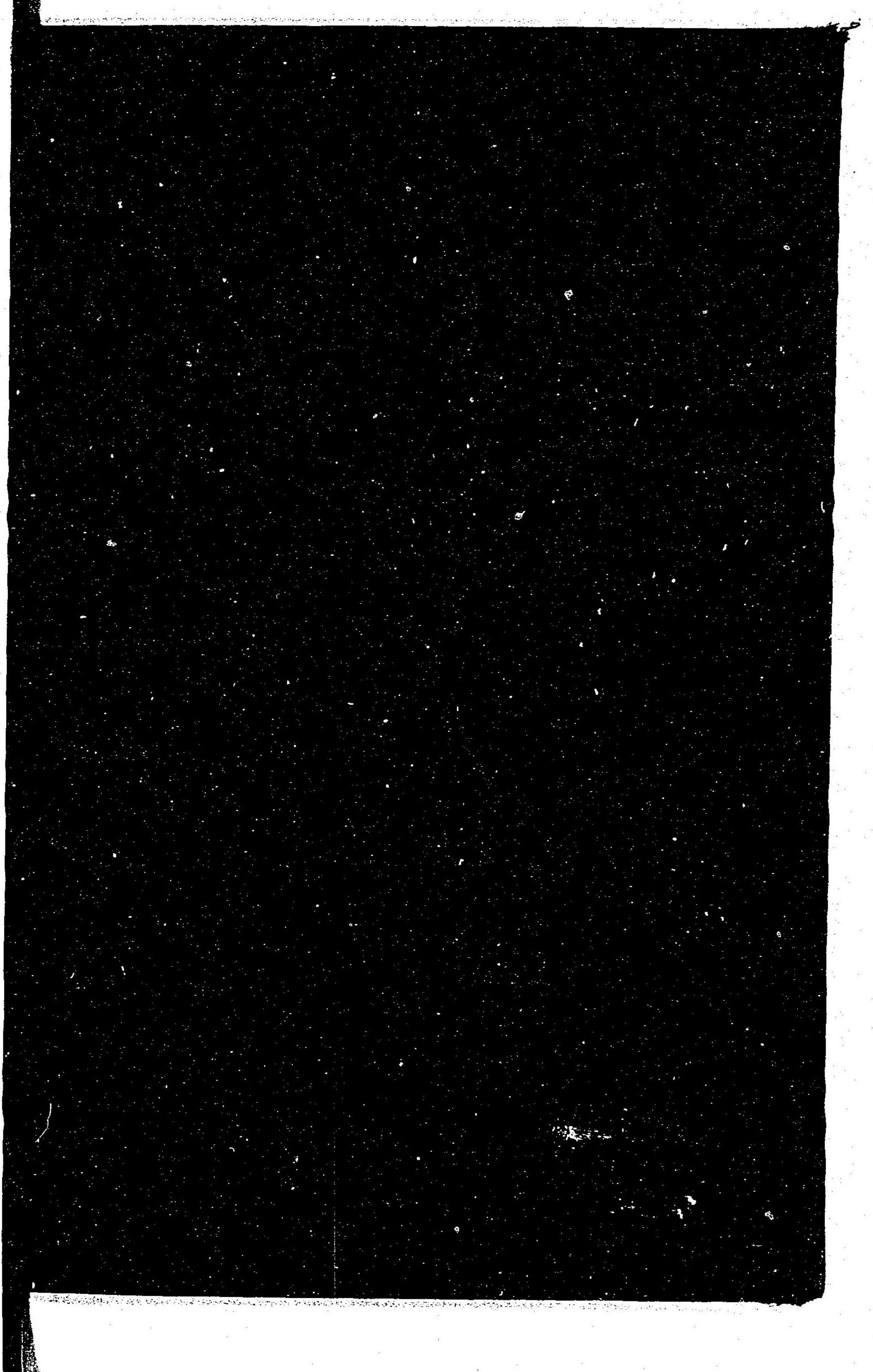
文せらるる

の便益



76  
265









010522-000-8

76-265

人格の養成

加藤 咄堂/著

M40

AAE-1976





